

施策評価シート（平成28年度実施分）

基本姿勢	1	安心で魅力ある「定住のしま」 ～分野2 人を大切に、人を守るまちづくり～
政 策	1	健康を守りつくる保健・医療の地域づくり
基本方針	住民が健康で安心した生活ができるよう生活の質の向上を目指すとともに、保健サービスや相談機能の充実を図り、住民のニーズに対応した地域医療環境の充実に取り組みます。	

基本施策	1-2-1-①	健康を守りつくる環境づくり	
主管課名	健康保険課	所属長名	荒 木 宣 貴
関係課名			
	基本施策の評価		
	<p style="color: blue; font-weight: bold;">○「新上五島町健康づくり計画」に基づいた、住民が主体となった地域で支え合う健康づくりと食育による健康づくり</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントにおいての展示や関係機関、関係団体等と連携して、楽しみながら生活習慣病を予防でき、地域の魅力を再発見する機会にするためのウォーキング講座や啓発活動等の検討を行っていく。 ・新たな地区での自主サークルの結成に向け、引き続き町主催の教室を実施しながら意識醸成を図るとともに、既存サークルの活動についても支援を行っていく。 ・推進員の活動をさらにPRしていきながら登録者数を増員するとともに、地域における健康情報の普及啓発や健康づくり活動の拡充や活性化を図っていく。 <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立大学との協定事業を活用して健康づくり推進員と協働でH27年度5地区H28年度5地区の合わせて10地区のウォーキングマップを作成した。 ・週1回実施している自主サークル（有川1・丸尾1）のスクエアステップ&サーキット教室の支援を行なっているが、H28年度は新たにトレーニングマシーンを使用したサーキット教室を上五島地区で開催し38名が参加した。教室終了後も継続を希望したため、自主サークルとして実施している。 ・食生活改善推進員による各種料理教室（5支部：68回）の開催や減塩のための訪問活動を実施し、地域住民に対し食育の推進を図った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したウォーキングマップが幅広く活用されるための方策を検討する必要がある。 ・町主催のスクエアステップ&サーキット教室の終了者等を対象に、地域で自主的に健康づくりの活動を行うサークルの結成について打診しているものの、新たな地区への拡大が図れない。 ・食生活改善推進員の養成と高齢化、参加者が固定化している会場があることが課題であり、今後の検討が必要である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度から2カ年間の取組実績を基に、ウォーキングマップの活用、スクエアステップ&サーキット教室の更なる拡大と食生活改善推進員の確保・養成を行いながら健康づくりを推進していく。 <p style="color: blue; font-weight: bold;">○健康づくりボランティア等の育成、地域での健康づくり活動促進</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進員及び食生活改善推進員の新規会員の拡大を図るため、各種イベントや自主サークル等へPRを行い、意識醸成を図るとともに、両推進員が協力して事業を行えるよう支援していく。 <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、健康づくり推進員（57名）及び食生活改善推進員（124名）の事業継続を図っていくため、両推進員による勉強会及びウォーキング会を実施し、育成及び支援を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進員及び食生活改善推進員ともに会員が高齢化してきており、また、様々な役職を抱えている方が多く、新たな推進員のなり手が少ない。 		

■今後の取組方針

・新規会員の拡大を図るため昨年度同様に各種イベントや自主サークル等へPRを行い、地域での健康づくり活動促進を図っていく。

○関係機関との連携による健康診査やがん検診等の受診環境の整備、受診機会の拡充による受診率の向上

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・国保連合会や医療機関等と連携して、みなし健診の導入や事業所健診の情報提供の拡大など、受診率向上に繋がる様々な取り組みを強化していく。

■平成28年度の取組概要

・町内6医療機関と集団健診において、夜間及び土曜日健診を実施した結果、受診率が41.7%となり、昨年度より0.6%上昇した。

■評価（問題点とその要因）

・夜間や休日健診の実施で、今まで健診を受けていない方の受診につなげることができたが、継続して受診してもらうための体制づくりに向け、事業所の理解や協力が必要である。

■今後の取組方針

・引き続き、国保連合会や医療機関等と連携して、事業所健診のデータ提供依頼の拡大など受診率向上に努める。

○地域における健康教育・健康相談・訪問指導等による生活習慣病の予防支援

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・事業所の意識が従業員の健康づくりを左右するため、事業所の上部組織から働きかける方法がないか検討しながら、健康意識の底上げを図っていく。また、事業所や地域ぐるみ（環境面：飲料会社の協力や運動施設内の飲料内容の検討など）の取り組みについても検討していく。

■平成28年度の取組概要

・町内の事業所へ夜間・休日健診のPRで訪問を実施し、漁業や建設業を中心とした6事業所と各事業所の労働衛生担当者の講習の場に出向き健康教育や訪問指導を実施した。また、11公民館において健康道場（夜間）を実施し、231名の参加があった。

■評価（問題点とその要因）

・従業員の健康づくりに積極的な事業所とそうでない事業所があり、事業主の健康に対する意識により差が大きくなっている。また、働き盛りの年代では男性の健康意識が低く、生活習慣病増加の原因となっている。

■今後の取組方針

・従業員の健康づくりに対する意識付けを向上させるため、商工会等との協力についても検討していく。

○心の健康や病気、感染症の早期対応に向けた啓発活動及び医療機関と連携した情報提供や相談・支援

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・新型インフルエンザ対策行動計画に基づいた連携体制の確認しながら、必要に応じて研修会や訓練等を実施していく。

■平成28年度の取組概要

・昨年度に引き続き、広報紙で予防接種事業（インフルエンザ・肺炎球菌）の周知を行い、高齢者大学やミニデイサービス等において、インフルエンザ感染予防の健康教育やパンフレット配布を行った。

■評価（問題点とその要因）

・新型インフルエンザ等対策行動計画を策定し、ホームページ等で住民への情報発信を行っている。
・庁舎内や各医療機関などの関係機関との連携強化に向けた情報交換、連携体制等の確認、研修会への参加及び訓練等の体制を構築する必要がある。

1次評価

	<p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、新型インフルエンザ対策行動計画に基づいた連携体制を確認しながら、必要に応じて訓練等を実施する。 <p>○健康づくりの拠点となる保健センターや健康センターの施設整備、利用促進と余暇時間の充実に資するための機能充実</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に保守、改修工事を実施しながら機能の充実に図っていく。 <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は有川健康センターの自動火災報知機、屋上鋼管破損による修繕を行い、施設の維持管理に努めた。奈良尾保健センターにおいては、奈良尾総合体育館と併設しており教育委員会と連携しながら維持管理を行っている。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両センターとも建築年数が経過し老朽化しており、計画的な改修が必要である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、計画的に保守・改修工事を実施しながら機能の充実に図っていく。 		
2次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査受診率の向上をはじめ、健康づくりのための人材育成の強化と、個人の取り組みを支える地域活動や事業所活動の充実強化に向け、保健・医療機関、地域関係団体、事業者等と連携しながら推進していくこと。 		
基本施策	1-2-1-②	地域医療環境の充実	
主管課名	健康保険課	所属長名	荒木 宣貴
関係課名	福祉長寿課、若松診療所、新魚目診療所		
	<p>基本施策の評価</p> <p>○医療を取り巻く環境の変化を踏まえた、適切な医療サービス、誰もが安心して日々の生活がおくれる地域医療体制の充実</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の負担軽減のため、引き続き入院介護者等交通費助成事業を行っていくとともに、各病院・診療所とも健診や保健業務を継続的に実施し、地域医療体制の充実に図っていく。 <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、入院介護者等交通費助成事業において入院患者介護者173名に対し無料バス乗車券を発行し、住民の負担軽減を図った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のニーズに沿うような医療提供体制の充実が望まれるが、医療人材の確保が急務となっている。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院介護者等交通費助成事業については、今後も継続し、住民の負担軽減に努め、更に、県・関係医療機関等と連携し、医療人材の確保に努める。 <p>○県や関係病院と連携した医師・医療従事者の確保、町民に効率的で質の高い医療を提供するための医療・保健・福祉の連携を推進</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離島医療医師確保に繋げていくための臨床研修医支度金助成を実施していくとともに、県事業の日帰り診療応援システムの事業検討を行うなど、医療スタッフの確保に努めていく。 		

■平成28年度の取組概要

・昨年度に引き続き、基幹病院である上五島病院を中心に、町内診療所、老人ホーム・介護施設などと連携して効率的な医療体制に努めた。

■評価（問題点とその要因）

・医師の確保については、本町において研修はするものの、島に残る医師が今のところ居ない状況である。

■今後の取組方針

・臨床研修医に限らず、県・関係医療機関等と連携し、広く医療人材の確保に努める。

○病院企業団をはじめとする医療機関相互の連携や機能分担化の推進、「かかりつけ医」をもつことの啓発・普及

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・健康診断等において「かかりつけ医」、「かかりつけ薬剤師」の普及啓発を行いながら、医療機関、薬局なども連携を取り推進していく。

■平成28年度の取組概要

・昨年度に引き続き、医療機関及び薬局と連携して、病院受診時において「かかりつけ医」、「かかりつけ薬剤師」の普及啓発活動を行った。

■評価（問題点とその要因）

・ジェネリック医薬品推進、延いては医療費削減のためにも医療機関及び薬局と連携した普及啓発活動を継続して行っていく必要がある。

■今後の取組方針

・引き続き、健康診断等において「かかりつけ医」、「かかりつけ薬剤師」の普及啓発を行いながら、医療機関、薬局との連携を推進していく。

○地域のニーズを踏まえた適正かつ効率的な診療所の整備・運営、身近な地域の医療確保

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・住民のかかりやすい医療サービスの提供を行っていくため、適正な整備・運営に努めていく。

■平成28年度の取組概要

・昨年度に引き続き、上五島病院と連携して町内11箇所の診療所、出張診療所において、地域の要望に沿った効率的な医療サービスの提供を行った。

■評価（問題点とその要因）

・高齢化が進む中、適正な整備・運営に努めていく中で、施設が老朽化しており、計画的な維持管理が必要である。

■今後の取組方針

・施設の計画的な維持管理を行いながら、今後も継続して適正な整備・運営に努める。

○診療所でも救急対応がとれる体制の確保、病院から遠い地域や本土への搬送は、より速く・安全に搬送できる救急業務体制と応急手当等の普及促進など救急救命体制の充実

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・救急告示病院は上五島病院のみであるため、上五島病院を中心に今後も引き続き、連携を図り救急救命体制の充実に向け検討していく。

1 次評価

	<p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上五島病院を中心に救急業務の充実に努め、県防災ヘリ等での救急患者輸送も行い、救急救命体制の充実に努めた。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各診療所は、救急告知病院ではないが、上五島病院と連携し、救急業務体制に寄与している。 <p>■今後の取組方針</p> <p>今後も継続して上五島病院と連携を図りながら救急医療体制の充実に寄与する。</p>
	<p>○町内の病院と診療所、本土の高次医療機関の間での遠隔診断・診療支援システムの充実による地域医療連携ネットワークの推進</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に導入している上五島病院の意見を聞きながら、引き続き町内医療機関・薬局等に必要であるか継続して検討していく。 <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上五島病院では導入しており、各診療所、薬局等で導入に向けた検討はしているものの、患者数等を考えると難しい状況である。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入するのであれば、全医療機関・薬局となった方が、住民にとっては良いと考えるが、費用対効果の面など、今後も検討していく必要がある。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き町内医療機関・薬局等に必要であるか継続して検討していく。
2次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、上五島病院への支援を行いながら、連携して医療提供体制の充実に向け取り組んでいくこと。

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
健康診査の受診率	目標	-	-	55.0%	60.0%	60.0%	60.0%
	実績	36.5%	41.1%	41.7%	-	-	-
	達成率	-	19.6% (98%)	75.8% (100%)	-	-	-
健康診査の充実 (保健指導)	目標	-	-	-	60.0%	60.0%	60.0%
	実績	48.4%	59.6%	67.5%	-	-	-
	達成率	-	96.6% (100%)	100% (100%)	-	-	-
健康相談の充実 (相談件数)	目標	-	-	-	250件	250件	250件
	実績	67件	285件	322件	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	100% (100%)	-	-	-

施策事業の進捗状況

1-2-1-① 健康を守りつくる環境づくり

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	(事業名) 食生活改善推進活動補助事業 【健康保険課】 (事業目的) 食生活改善思想の普及と実践活動等の事業を積極的に実施することにより、町民の健康増進と体力向上に寄与することを目的としている。 (事業概要) 食生活改善推進費として活動費補助金を交付。 (主な活動内容) ・各種料理教室の開催 ・訪問活動 ・食育活動 ・定例学習会	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	食生活推進員数	
		目標値	129人	129人
		実績値	124人	124人
		達成率	96.1%	96.1%
		決算(見込)額	1,273千円	1,273千円
		成果指標及び目標値の説明	食生活改善思想の普及と実践活動を推進するため、推進員を増やすことを成果目標とし、旧町単位で1名ずつ(前年度実績より5名)増やすことを目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	活動計画に沿って定例学習会、料理教室等を実施し、訪問活動において啓発活動を行った。	(取組実績)	活動計画に沿って定例学習会、料理教室等を実施し、訪問活動において啓発活動を行った。
	(成果・課題等)	会員については、増減で前年度と同数となったが、構成員が固定化・高齢化しており、新規会員の拡大が必要。	(成果・課題等)	会員の構成が固定化・高齢化しており、新規会員の拡大が必要。
2	(事業名) インフルエンザ予防接種事業 【健康保険課】 (事業目的) 重症化しやすい疾病の発生及び蔓延を予防するため、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び推進に寄与することを目的に実施。 (事業概要) 生後6ヶ月以上の住民に対し、広報紙等により啓発活動を行い、インフルエンザ予防接種の実施。	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	接種者数	
		目標値	12,628人	12,794人
		実績値	12,794人	12,541人
		達成率	101.3%	98.0%
		決算(見込)額	20,370千円	19,755千円
		成果指標及び目標値の説明	疾病の発生及び蔓延を予防するため、前年度より接種者数を増やすことを成果指標とし、前年度接種者数を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	町内の全ての医療機関インフルエンザ予防接種の実施。	(取組実績)	町内の全ての医療機関インフルエンザ予防接種の実施。
	(成果・課題等)	田坂医院が閉院したことにより、前年度3,000人の接種者が他の医療機関で接種することになったが、実績として前年を上回ることができた。	(成果・課題等)	土曜日や夜間帯など接種機会の拡大を図った。

1-2-1-① 健康を守りつくる環境づくり（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
3	<p>(事業名) 特定健康診査等事業 【健康保険課】</p> <p>(事業目的) メタボリックシンドローム（内臓脂肪型肥満）に着目した特定健康診査を実施し、生活習慣病を予防するため、保健指導を必要とする者を抽出する。</p> <p>(事業概要) 特定健康診査（質問項目、身体測定、血圧測定、血液化学検査、肝機能検査、血糖検査、尿検査）の実施。</p>	実施年度	平成20年度～	
		成果指標	特定健診等実施率	
		目標値	50%	55%
		実績値	41.1%	41.7%
		達成率	82.2%	75.8%
		決算（見込）額	14,707千円	15,632千円
		成果指標及び目標値の説明	法に基づき町の特定健診等実施計画の実施率（受診率）数値を成果指標とし、目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	町内6医療機関（個別）及び健康事業団（集団）による健診実施。平日の夜間（18:00～20:00の4日間）及び土曜日（9:00～12:00）の実施（8月と9月に1回ずつ）	町内6医療機関（個別）及び健康事業団（集団）による健診実施。平日の夜間（18:00～20:00の4日間）及び土曜日（9:00～12:00）の実施（6月と10月に1回ずつ）	
	(成果・課題等)	夜間及び土曜日健診の実施により、H26 38.3%からH27 41.1%まで上昇したが、国が定める目標値60%までは程遠いのが現状です。	夜間及び土曜日健診の実施により、H27 41.1%からH28 41.7%に上昇したが、国が定める目標値60%までは程遠いのが現状です。	
4	<p>(事業名) 健康マイレージ事業 【健康保険課】</p> <p>(事業目的) 町民の健康に関する意識の向上及び主体的な健康づくりを推進し、健康寿命の延伸と健康の保持増進を図り、健康に関心がない方や若者に対し健康を意識する「きっかけ」づくりとし、特定健診・がん検診の受診率向上、ひいては医療費の削減に繋がることを目的とする。</p> <p>(事業概要) 特定健診やがん検診及び町が行う健康に関する教室や事業に参加することにより一定ポイントを付与し、必要ポイントが貯まった方に対し、商品券等の景品との交換を行う。</p>	実施年度	平成28年度～	
		成果指標	応募者数	
		目標値	-	-
		実績値	-	-
		達成率	-	-
		決算（見込）額	-	-
		成果指標及び目標値の説明	期間中に窓口で配布したはがきに対し、ポイントを貯めて応募した人数を指標としている。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	-	平成28年10月から平成30年2月末までが事業期間となっている。	
	(成果・課題等)	-	-	

1-2-1-② 地域医療環境の充実

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名) 入院介護者等交通費助成事業 【健康保険課】</p> <p>(事業目的) 有川・奈良尾医療センター及び若松・新魚目診療所の無床化に伴い、長崎県上五島病院へ入院される方(患者)の介護者に対して、各医療センター・各診療所の所在地区から長崎県上五島病院までの無料乗車券を発行し、介護者の経済的負担(交通費)の軽減を図ることを目的とする。</p> <p>(事業概要) 長崎県上五島病院へ入院される方(患者)の介護者に対する交通費助成。</p>	実施年度	平成21年度～	
		成果指標	補助金交付件数	
		目標値	167件	173件
		実績値	167件	173件
		達成率	100%	100%
		決算(見込)額	1,618千円	1,801千円
		成果指標及び目標値の説明	補助金を交付することにより介護者の経済的負担の軽減が図られるため、交付件数を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	利用者数(延べ) ・有川地区 1,223人 ・新魚目地区 131人 ・若松地区 204人 ・奈良尾地区 312人	(取組実績) 利用者数(延べ) ・有川地区 1,198人 ・新魚目地区 246人 ・若松地区 374人 ・奈良尾地区 714人	
	(成果・課題等)	医療再編による無床化に伴い、各地区から上五島病院までの介護者の負担軽減策であり、引き続き地域医療体制の充実を図る。	医療再編による無床化に伴う介護者の負担軽減策であり、引き続き地域医療体制の充実を図る。	
2	<p>(事業名) 医師住宅建築事業 【若松診療所】</p> <p>(事業目的) 築36年を経過し老朽化している医師住宅を移転新築することで、医師の居住環境を改善し、医師の長期雇用や新規雇用を図り、もって地域の医療水準を維持・向上させること。</p> <p>(事業概要) 木造平屋建 1棟 建築面積 85.29㎡</p>	実施年度	平成28年度	
		成果指標	事業進捗率(%)	
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算(見込)額	-	34,459千円
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより医師の居住環境の改善と長期雇用の確保が図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	-	(取組実績) 計画どおり完成した。	
	(成果・課題等)	-	(成果・課題等) 医師の住居環境が向上した。	